

滋賀県立 精神医療センターたより

第46号

令和6年
11月発行

Contents

- 滋賀県の依存症対策に新たな動き
- 病院長 退任・就任祝賀会
- 依存症治療拠点機関としての取組み
- アクセス・受診案内



依存症対策に新たな動き

精神科における依存症治療は、これまでアルコールをはじめ依存性があり、かつ精神症状（鎮静や興奮、幻覚や妄想）を生じる薬物を対象としてきました。近年では、スマホ依存、ゲーム依存、インターネット依存、買い物依存といった行動嗜癖にも関心が寄せられるようになり、メジャーリーガーの通訳の方で脚光を浴びたギャンブル依存も例外なく治療対象になっています。従来は、公営ギャンブルとしての競馬、競輪、オートレース、オートレースは開催施設に出向きかつ現金で決済する方法でしたが、インターネット投票が普及したことにより、自宅でも、職場でも簡単に参加でき、銀行の口座引き落としなど現金を介さずに投票することが可能となりました。その結果、本人の行動嗜癖が潜在化してしまい、発覚したときには多額債務者となる事態を招きやすくなっています。

全国各地で公営ギャンブルが運営される中で、都道府県が主催しているのは滋賀県におけるびわこ競艇のみです。オートレースびわこは、しばらく売上げが低迷する時期がありましたが、インターネット投票やオートレース自体のイメージアップ戦略も奏功し、令和5年度には23億円もの県一般会計への繰出金をもたらすまでに回復しています。その輝かしい光には、上述したようなギャンブル依存による経済破綻、家庭崩壊や失職など暗い影を伴っています。主催者としてはオートレースが健康的な趣味・娯楽として存在価値を高め、収入を確保しつつ、同時にギャンブル依存症として社会生活が崩壊した方を支援するだけでなく、未然に防いでいく対策も講じなければなりません。

滋賀県ではインターネット投票の膨大なデータを匿名化（誰の投票かわからなくする作業）の上で、どのような投票行動が依存症につながりやすいかを分析するとともに、今後は依存症となった当事者やそのご家族を支えるシステムの構築を目的としたプロジェクトを立ち上げようとしています。当院も県内の依存症治療拠点病院として、そのプロジェクトに貢献する所存です。現在、ギャンブル依存症等により当院で治療中の方、或いは今後当院で治療をご希望される方には、プロジェクト推進のための調査にご協力いただくことがあると思います。全国的にみても先進的な取り組みですので、この紙面で紹介の上、皆様にご理解とご協力をお願いする次第です。

依存症治療拠点機関としての取り組み

当センターは「依存症治療拠点機関」として、毎年、医療分野などの関係機関の職員向けに「依存症対応研修」を実施しております。今年度は、「アルコール健康障害」「薬物依存症」「ギャンブル等依存症」に分けて、それぞれ対応研修を企画しています。

9月13日には、「薬物依存症対応研修」をオンラインで開催致しました。国立・精神医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部 心理社会研究室の 嶋根 卓也氏をお迎えして、薬物依存症の基礎的な知識や、最近の若年層の市販薬乱用・依存の現状、支援者としてどのように理解を深めればよいのかなどのお話を頂きました。

お話の中で学んだこと——

若い子たちは、市販薬乱用の長期健康リスクについて想像することが難しい。

「薬、絶対ダメ!」というメッセージも伝わらない。“おどし教育”ではなく、直近で起こるデメリットを伝えながら、“安心して相談できる大人”として関わることが大切、ということ学びました。

嶋根先生のお話はとても分かりやすく、参加いただいた方からも好評でした。

病院長 退任・就任 祝賀会

滋賀県立精神医療センターの大井前病院長の退任、並びに増井病院長の就任を祝う「滋賀県立精神医療センター病院長 退任・就任 祝賀会」を、滋賀医科大学精神医学講座と滋賀県立精神医療センターの共催により、8月24日(土)に、ホテルポストプラザ草津6階ケネディルームを会場に挙行政いたしました。

当日は来賓含め70余名の参加者による記念撮影を始め、精神医療センター地域生活支援部 加藤主幹の司会のもと、滋賀医科大学精神医学講座 尾關教授の開会挨拶に続き、病院事業庁正木庁長、日本精神科病院協会滋賀県支部 青木支部長、滋賀県立総合病院 足立総長から来賓挨拶を賜りました後、地方独立法人栃木県立岡本台病院 下田理事長兼院長の乾杯のご発声により華々しく開宴いたしました。

祝宴は、終始和やかな雰囲気の下に進み、主役のお二人への記念品贈呈、そしてお二人による挨拶の後、滋賀医科大学精神医学講座同門会 石田会長の閉会の挨拶により閉会となりました。

滋賀県下の精神医療関係者がこのように一堂に集う機会は稀であり、参加いただいた皆様には心より楽しんでいただけたことと存じます。祝宴の準備に奔走いただいたスタッフの皆様にはこの場をお借りして、心より感謝を申し上げる次第です。



国立・精神医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部
心理社会研究室 嶋根 卓也先生

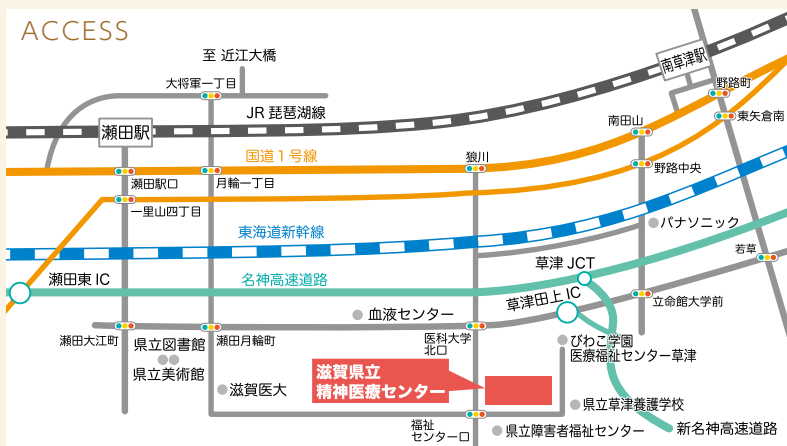
来年2月には「アルコール健康障害対応研修」を開催する予定です。

アルコール健康障害を抱えた人の多くは、精神科医療につながる前に、身体科医療を受けています。最近では、一般科の医療機関においても、アルコール健康障害への対応や専門医療との連携に重要性を感じ、それぞれの施設で試行錯誤しながら患者さんに関わっておられます。

今年度の研修では、「医療連携」や「現場での対応」をテーマに、滋賀県内と京都府内それぞれの精神科と一般科の医療機関で行われている取組について、お話いただく予定です。

詳細が決まり次第、ホームページなどでお知らせいたしますので、是非ご参加ください。

交通のご案内



JR瀬田駅から

- ① バス(滋賀医大方面行き)
「大学病院」下車 徒歩10分
- ② タクシー 約15分

JR南草津駅から

- ① バス(草津養護学校行き)
「県立総合福祉センター」下車徒歩1分
- ② タクシー 約10分

自動車

新名神高速道路
草津・田上ICから約5分

外来診療のご案内

● 診療日:月～金曜日 ● 休診日:土・日・祝日・年末年始

	月	火	水	木	金
精神科外来	千貫 桐山 畑本(章) 三谷	辻本 濱川 畑本(有)	大井 山本	藤川 松村 栗本(半日)	野口 山田 増田
中・高生 こころの専門外来		野口 日指		桐山 尾関(午前)	
依存症専門外来			千貫 金山		濱川
内科外来	浅田	浅田	浅田	浅田	浅田

※…精神科全般：アルコールおよびその他依存症、中高生の精神疾患、発達障害に関する診察、その他精神科疾患の診察を行っています。(認知症・てんかんの診察はしていません。)

※…栗本医師の診察日については予約専用ダイヤルにてお問い合わせください。

完全予約制です 予約専用ダイヤルにお問い合わせください。

[予約専用ダイヤル] ☎ **077-567-5023** でお受けしています。

・受付時間:平日の9時から16時まで。

・緊急時は、代表電話:077-567-5001へおかけください。



滋賀県立 精神医療センター

〒525-0072 滋賀県草津市笠山八丁目4番25号
TEL:077(567)5001/FAX:077(567)5033

